

RPAガバナンス構築のための ガイドライン・ハンドブック 利用における概要説明資料

PwCあらた有限責任監査法人
UiPath株式会社
2020年12月



目次

1. 本取り組みの背景・目的
2. 本ガイドライン・ハンドブックの概要
3. 想定される利用方法

1.本取り組みの背景・目的①

「RPAガバナンス構築のためのガイドライン」および「RPAガバナンスハンドブック」作成の取り組みは、以下のような課題認識のもと開始しました。

私どもの課題認識

01

より重要性の増す、人や労働にかかわる経営課題、社会問題

02

解決策の1つであるRPAの普及阻害のリスクの存在

03

RPAガバナンス構築のための参考となる基準・ガイドラインがない

概要

- 労働人口の不足や働き方改革などを背景に、労働生産性の向上等はあらゆる組織において喫緊の課題となっている。少子高齢化も相まって、その重要性は増している。
- 解決手段の一つとしてRPAがあるが、十分な管理体制や管理ルールを定めないままRPAを導入したことにより、管理者不明の「野良ロボ」問題やロボット専用IDの不正利用などといったリスクが顕在化している。
- これらのリスクを懸念して導入が停滞するケースや、実際にリスクが顕在化して導入目標を達成できないケース等、RPAの本格導入に支障を来すケースも出てきており、このままではRPAの普及が阻害され、ひいては人や労働にかかわる経営課題、社会問題の解決自体も阻害される。
- RPAの普及の阻害要因への対応として、RPAを安全・安心に導入・利用していくための仕組み、即ち「RPAガバナンス」の構築が急務となっているが、参考となる基準・ガイドラインがない。

1.本取り組みの背景・目的②

本取り組みは、本ガイドライン・ハンドブックの無償公開、啓発活動を通じて、RPAガバナンス構築を推進し、RPAの健全な普及、そして人や労働にかかわる社会問題解決の一助となることを目指しています。

導入
検討期

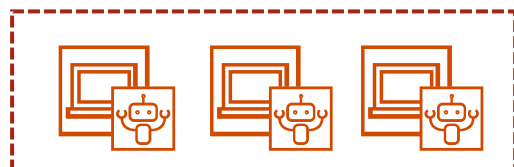
パイロット導入期/
スモール導入期

本格導入期

成熟期/高度化期

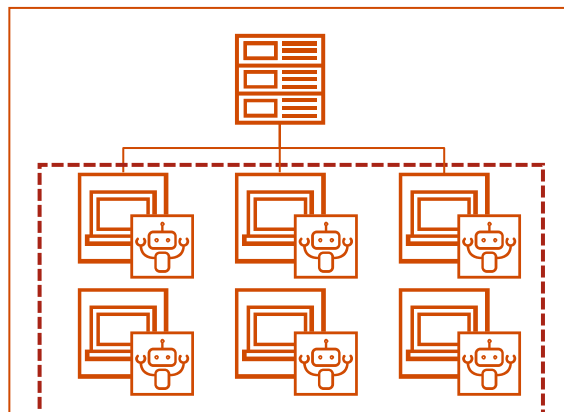
本取り組みが目指す
RPA導入組織のゴール

PoC



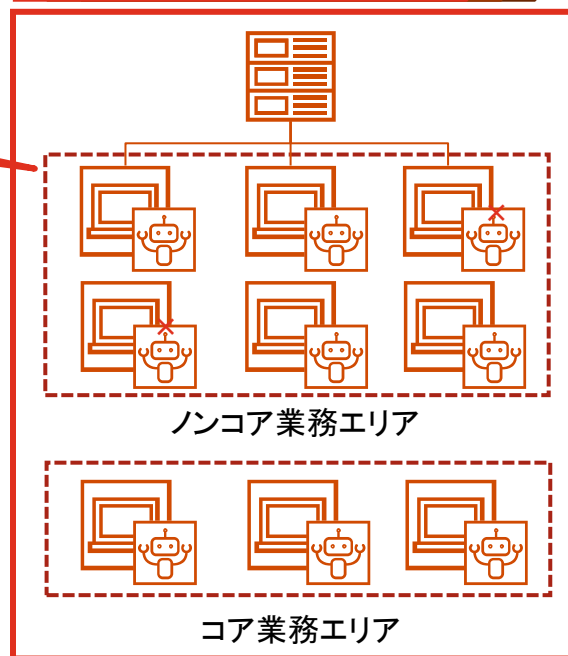
ノンコア業務エリア

- 業務の一部を自動化
- 既存業務の置き換え中心



ノンコア業務エリア

- 全社レベルでの導入・拡大、業務の広範囲を自動化
- 効果が少しずつ出始める(初期は効果が見えづらい)
- SOX対応の開始
- RPAガバナンスの確立





ノンコア業務エリア

コア業務エリア

- 高リスク業務含む、更なる導入拡大、デジタルレイバー技術を前提とした業務の確立
- RPA導入目標・目的の実現、人や労働にかかわる経営課題の解消
- RPAガバナンスの継続的な改善・最適化

2.本ガイドライン・ハンドブックの概要 ～位置づけ・概要～

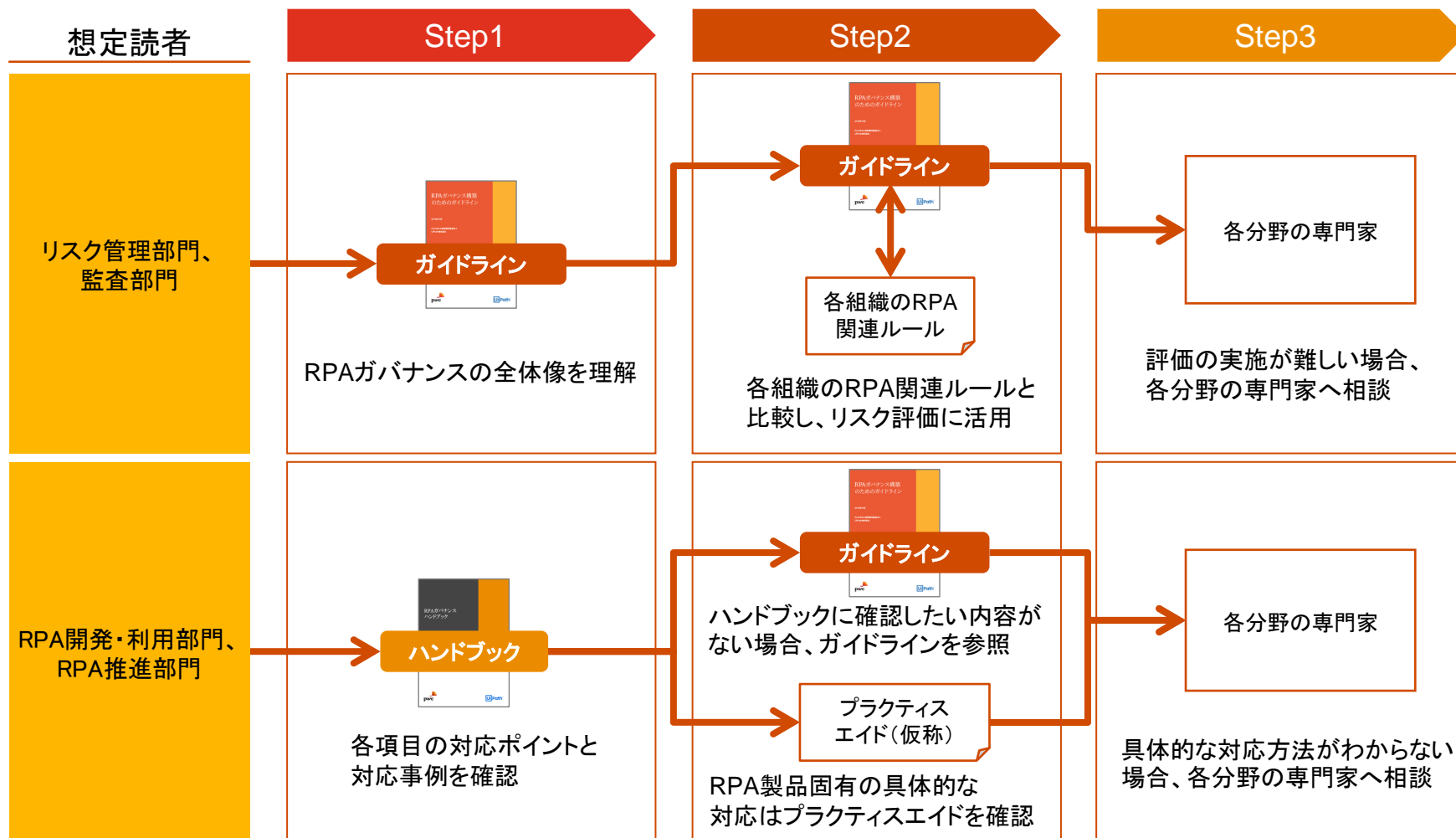
本ガイドラインは、RPAガバナンス構築のための参考書の様な位置づけです。また本ハンドブックは、RPA導入・利用においてよく課題にあがるもの等、知っておくべきポイント等をまとめたものです。これらは、特定のRPA製品に依存しない内容としています。なお具体的な技術的対応方法は、RPA製品ベンダー、ソリューションプロバイダー各社からプラクティスエイドとしてまとめ、発行することを想定しています。

	RPAガバナンス構築のための ガイドライン	RPAガバナンスハンドブック	RPAガバナンス構築のための プラクティスエイド(仮称)
イメージ			※RPA製品ベンダー、 ソリューションプロバイ ダー各社が作成
概要	<ul style="list-style-type: none"> • RPAガバナンスの全体像や構築方法、運用等を網羅的に記載したもの • 特定のRPA製品に依存しない 	<ul style="list-style-type: none"> • RPAガイドラインから知っておくべきポイントと対応事例を記載したもの • 特定のRPA製品に依存しない 	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的な技術的対応方法を記載したもの • RPA製品毎の対応方法
対象	<ul style="list-style-type: none"> • RPAガバナンスの構築方法や全体構成の詳細を知りたい方 • RPAに関するリスク認識を持っている、RPAガバナンス構築担当者 	<ul style="list-style-type: none"> • RPA開発・利用部門、RPA推進部門の方 • 何を守っておけばいいか、具体的箇所を知りたい方 	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的な実装方法を知りたい方 • 現在利用中の製品では対応が困難だと感じている方で(対応可能な製品を検討したい方)

今回公開する資料

3.想定される利用方法

「RPAガバナンス構築のためのガイドライン」および「ハンドブック」は、RPAを開発・利用する部門とRPA導入によるリスクを管理する部門の双方を読者として想定し、作成しています。



お問い合わせ先

PwCあらた有限責任監査法人

RPAガバナンス担当

jp_aarata_rpa_gov@pwc.com

UiPath株式会社

ソリューション本部バリューデザイン部

jp-value-design-div@uipath.com

© 2019-2020 PricewaterhouseCoopers Aarata LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

© 2019-2020 UiPath Inc., UiPath SRL, UiPath K.K.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.